

【河川管理のためのモニタリング手法の合理化・高度化技術】

テーマおよび概要		研究代表者名
テーマ	河川縦横断測量を高度化、効率化するための航空機レーザ計測適用に関する研究	株式会社パスコ 坂下 裕明
概要	従来の定期縦横断測量の代替として、航空機レーザ測深機(Airborne Laser Bathymetry)を用いた河川の水面下地形を連続的に取得する手法を研究するとともに、河床材料や植生等の判別可能性を検証し、河川地形のモニタリング手法の確立を目的とする。	
テーマ	堤防の3次元変状等をモバイルマッピングシステム、高精度高密度航空レーザ測量システムにより広域かつ高精度に把握する探査技術	京都大学 西山 哲
概要	車両搭載型レーザースキャナを活用した広域で面的かつ高精度の堤防変状モニタリング技術を完成させる。	
テーマ	光ファイバによる広域モニタリングシステムの開発と氾濫予測技術への活用	東京大学 村山 英晶
概要	地表・地下で河川管理に関わる面的な情報を効率的にモニタリングし、リアルタイムの状況把握によって河川管理を高度化するため、光ファイバセンサネットワークを開発する。	

(五十音順、敬称略)